

2025年度 事業報告書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

1. 事業の概況

(1) 活動及び運営の概況

2025年度は、普及啓発事業の一環として数年前から当協会の技術提携によりトヨタ紡織株式会社で開発されたリラックスシートが「Remotouch(リモタッチ)」として「大阪・関西万博」のNTTパビリオン内の限定公開ブースにて展示されました。NTTの次世代情報通信基盤(IOWN)で接続するすることで、遠隔地にいる相手に手のぬくもりや優しいタッチをリアルタイムで伝える事が可能となり、さらなる未来型シートの開発にも期待を寄せています。また、春には公益社団法人日本フィランソロピー協会よりご支援いただき、同法人が実施されている寄付推進プログラム「フィランソロピーバンク」の事業として、能登半島地震の被災地の支援を6月・9月・11月そして3月と4回にわたって行うことが出来ました。この事業では、被災者等の心身のケアに資するためにセラピューティック・ケアを提供するだけではなく、継続してケアを提供していける体制づくりを行いました。運営としては各事業部が活発に活動に取り組み、危惧していた赤字を何とか回避することが出来ましたが、2026年度も厳しい運営となる事が予想されます。より多くの皆様にご支援を頂けるよう、そして会員が心を一つに力を合わせ、協会を次世代に引き継いでいけるよう努めてまいります。

【各事業部の主な活動】

(実績については「特定非営利活動に係る事業実績」を参照下さい)

1. 施術活動事業部

- 2025年度は全国で延べ2,739名の会員が延べ11,692名の方(子育てファミリーケアを含む)にケアを提供しました。新型コロナウイルスにて閉鎖になっておりました訪問ボランティア施設の再開が5ヶ所増え新規は14ヶ所増えました。
- 災害被災者支援
日本フィランソロピー協会の能登半島地震支援基金事業におきまして寄付金をいただき、6月・9月・11月・3月の4回にわたり被災地支援活動を行いました。また継続的にケアが届けられる体制づくりを目的に、11月には「保育園でのワークショップ」「小中学校授業」「ミニ講習会」を開催しました。3月の「災害ボランティア実践講座」は53名の方が受講され、被災地における今後のセラピューティック・ケアの展開に期待しています。

2. 人材育成事業部

- 講師部会
講師部会の開催については、日中就労等により参加できない講師の参加促進のため奇数月は夜間、偶数月は日中に開催し、各種規定の見直しや意見交換等を行いました。2023年7月に作成した入門テキストの第2版を作成し、2025年10月頃より本テキストを使用し講座の開催をしました。また、2025年度の講師更新については、2026年5月25日を予定しています。
- インファントセラピスト指導講師部会
インファントセラピスト指導講師養成講座は1回開催し2名が受講。インファントセラピスト養成講座を実施する講師と連絡をとり、実習待ちの講師に講座開催を連絡し、2名がインファントセラピスト指導講師に認定されました。インファントセラピスト指導講師資格は講師資格と連動しているため、講師資格更新までの2年間のうちに、1名を除き残りの指導講師全員が受講完了しました。また、不明確だった未認定および休職中の講師を把握しました。
- アシスタントインストラクター部会
アシスタントインストラクター資格取得講座を3カ所で開催し9名が受講しました。昨年度の受講生を含め12名が新たにアシスタントインストラクターに認定されました。またアシスタントインストラクター研修を6会場(福岡、東京、兵庫、佐賀、札幌)で開催しました。今年度初めて、他支部とのラインでのアシスタントインストラクターミーティングを行いました。

■ 施設セラピスト部会

株式会社ウェルフェアネット様において、施設セラピスト資格取得コース（21時間）を7名、スキルアップを8名が受講されました。グループホームの利用者様にケアを届けておられます。

■ 療法士部会（CT）

Complementary Therapist(CT)資格取得講座は、3カ所で開催し、8人が新規受講されました。また、21人が資格更新できました。CTテキストの改訂はチームの力で素晴らしいテキストが完成し、10月の講座から使用しています。

3. 普及啓発事業部

■ ミニ講習会部会

全国各地で社会福祉協議会や地域団体などから依頼があり、ミニ講習会を開催しました。なかでも第3回能登半島被災地支援で石川県に行った際にミニ講習会を行うことができました。

■ 学校(特別授業)部会

全国12ヶ所にて授業を開催しました。小学校では参観日や親子交流会での開催が増え、感想文には親子が互いに対する想いが綴られ手のぬくもりの大切さを再確認してもらえました。協会講座を受講された学校関係者からの依頼で中高生への開催もしました。第3回能登半島支援では被災された小中学生を対象に開催しました。

■ ボランティア養成部会

ボランティア養成講座（入門講座およびセラピスト資格取得コース）の開催回数および受講者数につきましては事業報告をご覧ください。2025年度も多くの皆様に講座を受講していただきました。新しい仲間をお迎えできたことを感謝、歓迎いたします。今後とも、ボランティア養成講座を継続的に開催し、ボランティア養成を続けてまいります。

■ 子育て支援部会

ワークショップは福岡・北九州・広島・新潟・石川・埼玉・東京で開催しました。子育てファミリーケア・産後ケア・マクドナルドハウスの活動は確実に増えています。養成講座は佐賀・兵庫・新潟で開催、7名が受講されました。ソラスト社より依頼され対面で12名受講されました。更新セミナーは、福岡でオンライン18名（講師研修10名含む）、東京で対面4名開催しました。

■ 通信教育部会

日総研の募集チラシの他、「認知症ケア」3月号にセラピューティック・ケアの特集記事を重松講師と(株)ウェルフェアネットの平原様に執筆をお願いし掲載されました。通信教育スクーリング3ヶ所で受講希望者が1名のため開講できなかったため、福岡地区→高知と受講者の近い地区でセラピスト資格取得コース3日目への編入をさせてもらうようお願いしました。東京地区も当日1名のみの参加でやむを得ず開講せざるを得ませんでした。セラピスト資格取得コースとスクーリングでは色々異なる条件があり担当講師にはご負担をお掛けしました。次年度には考慮が必要と考えます。

■ 大学等授業支援部会

福岡：短期大学2校（セラピスト認定1校・インファントセラピスト認定1校）、専門学校2校
函館：看護専門学校1校で講義を担当しました。

■ イベント部会

全国で定期的にイベント開催が増え、入門講座開催や施設ボランティア活動の依頼がありました。

■ 広報部会

会員通信『会員の窓』を2025年6月に発行しました。
広報紙『華』Vol.26を2025年9月に1500部発行しました。

■ セラピースマイル（会員専用ページ）

新規会員の登録の徹底するために入門講座やセラピスト資格取得コースの終了時に登録の呼びかけを行うよう講師に依頼しました。

セラピースマイルをより親しみのあるものにするため、理事4名の突撃インタビューを掲載しました。

4. 各委員会

■ 倫理審査委員会

今年度、研究倫理審査申請は0件でした。

会員が日々の活動と研究活動を進めていけるよう今後も努力してまいります。

■ 危機管理委員会

危機管理委員会は、3回オンライン会議を行いました。

最新の感染予防対策関連事項として、インフルエンザ感染予防対策について検討し、

会員専用ページ（セラピースマイル）に掲載し周知しました。

■ プロジェクトT委員会

秋吉美千代名誉理事長のスキルを後世に伝えるDVDの制作を検討し、ボランティアの方を募集して収録・編集をお願いしています。また、2026年度の講師更新を総会翌日とし、ハンド&アームケア・レッグケアの実技を行うことになっています。

5. 受取寄付金

（単位：円） ※P18を参照下さい

■ 受取寄付金	[内 訳]	個人	636,620
		法人	128,408
■ 受取助成金	[内 訳]	法人	816,422
		合計	1,581,450

(2) 事業実施内容

- ① 病院、ホスピス、福祉施設等へ訪問し、施術活動を行う。
- ② 災害復興支援ボランティアとして活動する。
- ③ 地域に密着した活動の為に各種講習会の開催及び介護支援ボランティアを養成する。
- ④ 子育て支援として、特に母親に視点を当てたインファントセラピストの養成、イクメン講座の開催の他、ワークショップにも積極的に取り組む。
- ⑤ 小・中・高校の特別授業で親子、友人達等との心の交流によるコミュニケーション法を指導し、ボランティア各種活動に関心をもつ次世代を育てる。
- ⑥ 施設セラピストの導入事業所を増やし、専門職のキャリアアップに努める。
- ⑦ Complementary Therapist(コンプリメンタリーセラピスト/CT)の養成、スキルアップおよび活動支援・普及に努める。
- ⑧ 通信教育の推進により人材を育成する。

参考資料

■ メディア掲載状況

2025年

5月21日付 函館新聞「手のぬくもり、多くの人に 函館の加藤さん、セラピューティック・ケアの普及に力」あわら社協だより「ひだまり」（7月号：Vol.128）

市民活動サポートセンターうめさろん「だんば通信」（7月15日発行：108号）

10月30日付 北國新聞

11月18日付 北陸中日新聞

唐津市社協だより 91号（12月1日発行）

12月17日付 西日本新聞

2026年

2月17日 MRO（石川放送）ラジオ「ノコトラジオ」 前田講師生出演（電話）

日総研出版「認知症ケア 個別ケア実現への具体策」2026年春号